

令和2年6月24日
都市整備部まちづくり推進課
都市整備部地域整備課

江東区内の大規模開発計画について

NO	地区名	位置	面積	事業者	内容	整備手法	完成時期
1	豊洲 一～三丁目	豊洲一～三丁目 (IHI造船所跡地他)	約 60.0ha	(株)IHI 他	<p>○ 造船所跡地等の土地利用転換を図り、骨格的な都市基盤として道路、公園、交通広場等の整備とともに、業務・商業・居住等の諸機能を導入することにより、土地の有効利用と都市機能の更新を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成17年04月 豊洲三丁目公園供用開始 平成18年03月 豊洲まち開き 平成18年04月 豊洲公園供用開始 平成19年04月 豊洲北小学校開校 平成21年12月 潮風の散歩道供用開始 平成25年05月 補助200号整備事業完了 平成27年04月 豊洲駅地下自転車駐車場供用開始 平成27年09月 豊洲シビックセンターオープン 	地区計画 土地区画 整理事業 住宅市街地 総合整備 事業 市街地 再開発事業	H17年度 ～
2	豊洲ふ頭	豊洲六丁目 及び五丁目 の一部	約 110.0ha	東京都 東京ガス(株) 東京電力(株) 他	<p>○ 業務・商業・居住・市場などの各機能がバランスよく配置された複合市街地の形成を目指すことに重点を置いて、土地利用を進めていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成18年03月 ゆりかもめ「市場前駅」、「新豊洲駅」、「豊洲駅」開業 平成20年03月 小学校用地の確保 平成21年06月 病院用地取得 平成21年09月 豊洲六丁目公園供用開始 平成22年08月 豊洲六丁目第二公園供用開始 平成23年06月 豊洲グリーン・エコアイランド構想策定 平成26年03月 補助第315号線交通開放 平成26年03月 昭和大学江東豊洲病院開院 平成27年04月 豊洲西小学校開校 平成30年04月 豊洲ぐるり公園供用開始 平成30年10月 豊洲市場開場 	地区計画 土地区画 整理事業	H17年度 ～
3	有明北	有明一・ 二丁目及び 東雲二丁目 の一部	約 141.0ha	東京都 他	<p>○ 東京の新しい副都心となる臨海副都心を形成していくため、地区の現況と地元の意向をふまえて、質の高い複合空間、都市環境を形成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成18年03月 ゆりかもめ「有明テニスの森駅」開業、環状第2号線供用開始 平成18年11月 放射第34号線延伸供用開始 平成23年04月 有明小・中学校開校 平成26年03月 補助第315号線交通開放 平成30年04月 有明西学園開校 	地区計画 土地区画 整理事業	H17年度 ～
4	潮見	潮見一・二 丁目	約 51.0ha	—	<p>○ 今後見込まれる土地利用転換を適正に誘導するとともに、多様な土地利用が調和する複合都市を目指し、地域核の充実及び良好なまちづくりの形成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成20年10月 まちづくり方針の策定 	(検討中)	—

NO	地区名	位置	面積	事業者	内 容	整備手法	完成時期
5	大島三丁目	大島三丁目の一部	約 1.6ha	—	<p>○ 駅前にふさわしい地域の生活・文化の拠点となるよう都市基盤の充実を図り、居住・商業・業務機能が複合したにぎわいのあるまちづくりを目指し、土地の有効・高度利用を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 13 年 06 月 地元による事業の検討開始 ・平成 16 年 11 月 協議会発足 ・平成 25 年 02 月 市街地再開発準備組合設立 ・平成 27 年 10 月～住民説明会の実施 ・平成 29 年 06 月 西大島地域まちづくり協議会設置 ・平成 30 年 03 月 西大島地域まちづくり提案書提出 ・平成 30 年 10 月 西大島地域まちづくり方針策定 ・令和 02 年 03 月 江東区に事業提案を提出 	(検討中)	—
6	亀戸六丁目	亀戸六丁目	約 27.0ha	—	<p>○ サンストリート亀戸跡地開発を契機とした良好なまちづくりを誘導するとともに、「亀戸都市核」に相応しい適切な土地利用転換を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年 08 月 亀戸六丁目まちづくり連絡会設置 ・平成 30 年 10 月 亀戸六丁目まちづくり方針策定 	(検討中)	—
7	新砂二・三丁目	新砂二・三丁目 (IHI 砂町工場跡地 他)	約 16.5ha	—	<p>○ 新砂二・三丁目を対象としたまちづくり方針を検討。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 02 年 06 月 新砂二・三丁目まちづくり連絡会設置 	(検討中)	—

1 豊洲一～三丁目地区の開発計画について

(1) 現況

- 対 象 豊洲一～三丁目（I H I造船所跡地 他）
- 面 積 約60ha（うち二・三丁目 約50.5ha）
- 用途地域 工業地域（一部準工業地域、第一種住居地域）
- 容積率 200%（一部300%、400%）

(2) 経緯

- 平成13年10月 ・東京都が「豊洲1～3丁目地区まちづくり方針」を策定
- 平成14年 3月 ・造船所機能廃止
 - ・豊洲1～3丁目地区の開発に伴う港湾計画の変更について了承
- 平成14年 5月～ ・撤去工事（三丁目）開始
- 平成14年 6月 ・都市計画（臨港地区、再開発地区計画（方針）、公園、交通広場）決定告示
- 平成14年 9月 ・都市計画（5街区、8-1街区地区整備計画）決定告示
- 平成14年12月～ ・撤去工事（二丁目）開始
- 平成15年 3月 ・都市計画公園及び特別区道の整備事業を都市基盤整備公団が施行することについて同意
 - ・「住宅市街地整備総合支援事業整備計画」を国土交通大臣が承認
- 平成15年 7月 ・芝浦工業大学（8-1街区）及びTXビル（5街区）工事着手
- 平成15年 9月 ・（仮称）第二豊洲小学校建設計画を発表
- 平成15年11月 ・都市計画（1街区地区整備計画）決定告示
 - ・豊洲二丁目土地地区画整理事業認可
- 平成15年12月 ・豊洲三丁目基盤整備工事着手
- 平成16年 1月 ・豊洲二丁目土地地区画整理事業着手
- 平成16年 2月 ・補助200号線都市計画事業認可
- 平成16年10月 ・豊洲三丁目自転車駐車場（自転車1,960台）供用開始
- 平成16年11月 ・都市計画（4-1街区、6街区、7街区、8-2街区、小学校街区地区整備計画）決定告示
- 平成17年 4月 ・豊洲三丁目公園、特別区道（一部）供用開始
- 平成17年 6月 ・スーパービバホーム豊洲（9-1街区）開店
- 平成18年 1月 ・都市計画（8-3街区、9-1街区・9-2街区地区整備計画）決定告示
- 平成18年 3月 ・ゆりかもめ豊洲延伸開業、豊洲まち開き
- 平成18年 4月 ・豊洲公園開園、交通広場供用開始、豊洲I H Iビル（5街区）開業
芝浦工業大学豊洲校舎（8-1街区）開校
- 平成18年 9月 ・豊洲センタービル・アネックス（1街区）開業
- 平成18年10月 ・アーバンドックららぽーと豊洲（4-1街区、6街区）開店
- 平成18年12月 ・都市計画（8-4街区地区整備計画）決定告示
- 平成19年 3月 ・ロイヤルパークス豊洲（8-2街区Aブロック）入居
- 平成19年 4月 ・豊洲北小学校（小学校街区）開校

- 平成19年 9月 ・豊洲二丁目土地区画整理事業完了
- 平成20年 3月 ・パークシティ豊洲（7街区）、豊洲レジデンス（8-2街区Bブロック）、パークアクシス豊洲（一丁目用地）入居
- 平成20年 4月 ・豊洲駅自転車駐車場（自転車300台原付100台）供用開始
・チャーミングスクエア豊洲（一丁目用地）入居
- 平成20年 6月 ・都市計画（3街区地区整備計画）決定告示
- 平成20年 7月 ・豊洲一丁目第二公園 開園（開発負担協定に基づく提供公園 0.1ha）
- 平成20年11月 ・水辺のまちづくりフォーラム開催
- 平成20年12月 ・観光PRコーナー「こうとうiキューブ」がららぽーと内に開設
- 平成21年 3月 ・THE TOYOSU TOWER（8-3街区）、シティタワーズ豊洲[現：ザ・ツイン]（9-2街区）入居
・豊洲地区運河ルネサンス協議会設立
・豊洲橋（補助200号）拡幅部の一部供用開始
- 平成21年 4月 ・チャンネルウォーク供用開始
・豊洲北小学校（小学校街区）増築工事着工
- 平成21年 8月 ・豊洲駅改良工事着手
- 平成21年10月 ・4-2街区（A～D敷地）暫定利用計画の事業計画書を提出
- 平成21年12月 ・潮風の散歩道（豊洲運河）供用開始
- 平成22年 3月 ・シティタワーズ豊洲ノースタワー[現：ザ・シンボル]（8-4街区）入居
・船着き場（豊洲運河）完成
- 平成22年 4月 ・豊洲北小学校（小学校街区）増築部分開校
・パディスポーツ幼稚園（4-2街区B敷地）開園【令和3年2月まで】
- 平成22年 5月 ・CAFÉ;HAUS（4-2街区C敷地）開店【令和3年2月まで】
- 平成22年 6月 ・シンフォニア保育園 分園（4-2街区D敷地）開園【令和3年2月まで】
- 平成22年 8月 ・豊洲フロント（3-1街区）竣工
- 平成23年 1月 ・豊洲キュービックガーデン（3-3街区）竣工
- 平成23年 4月 ・アニヴェルセル豊洲（4-2街区A敷地）開場【令和3年2月まで】
- 平成24年 3月 ・都市計画（2街区地区整備計画）決定告示
- 平成24年 8月 ・(仮称)豊洲3-2街区ビル計画 着工
・豊洲二丁目駅前地区第一種市街地再開発事業施行認可
- 平成24年12月 ・豊洲二丁目駅前地区第一種市街地再開発事業権利変換計画認可
- 平成25年 2月 ・シビックセンター棟（2-2街区）着工
- 平成25年 5月 ・補助200号整備事業完了
- 平成26年 3月 ・豊洲駅改良工事完了
- 平成26年 6月 ・消防署棟（2-3街区）着工
- 平成26年 7月 ・豊洲フォレシア（3-2街区）竣工
- 平成27年 4月 ・豊洲駅地下自転車駐車場供用開始
- 平成27年 9月 ・豊洲シビックセンターオープン
- 平成28年 5月 ・消防署棟（2-3街区）竣工
- 平成28年12月 ・事務所A棟・商業C棟（2-1街区）着工
- 平成30年 1月 ・事務所B棟（2-1街区）着工

- 令和2年 3月 ・事務所A棟・商業C棟（2-1街区）竣工
- 令和2年 6月 ・事務所A棟・商業C棟（2-1街区・ららぽーと3）開店

（3）今後のスケジュール（予定）

- 令和2年10月 ・事務所B棟（2-1街区）竣工
- 令和4年 3月 ・芝浦工業大学第二校舎（8-1街区）竣工

（4）開発計画の概要

- 基本方針

【豊洲1~3丁目地区まちづくり方針】

- ①次世代型の産業・業務拠点
- ②水辺に開かれた賑わい空間
- ③魅力的な都市型の居住空間
- ④臨海部における交通結節拠点

【地区計画の目標】

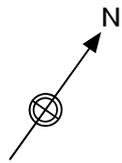
交通結節機能の強化や既存の産業機能を活かした業務・商業機能、水辺やドック跡を活かした交流機能、水辺に面する立地環境や眺望を活かした住宅機能などの整備により、拠点性の高い魅力的な複合市街地の形成を図る。

- 開発フレーム 面積：約 60ha
居住人口：約 22,000 人程度、就業人口：約 33,000 人程度

豊洲一～三丁目地区 開発計画



開発区域



●●●: キャナルウォーク
 ▲▲▲: 潮風の散歩道

記号	施設	事業者等	スケジュール
①	スーパービバホーム豊洲	トステムビバ (巴所有地)	平成 17 年 06 月開業
②	豊洲 IHI ビル	I H I	平成 18 年 04 月開業
③	芝浦工業大学豊洲校舎	芝浦工業大学	平成 18 年 04 月開校
④	豊洲センタービルアネックス	I H I	平成 18 年 09 月開業
⑤	アーバンドッグららぽーと豊洲	三井不動産	平成 18 年 10 月開業
⑥	ロイヤルパークス豊洲 (賃貸住宅) 267 戸	大和ハウス工業 (UR 所有地)	平成 19 年 03 月入居
⑦	豊洲北小学校	江東区	平成 19 年 04 月開校
⑧	パークシティ豊洲 1481 戸	I H I ・ 三井不動産レジデンシャル	平成 20 年 03 月入居
⑨	豊洲レジデンス (賃貸住宅) 384 戸	双日 (UR 所有地)	平成 20 年 03 月入居
⑩	パークアクシス豊洲 (賃貸住宅) 401 戸 (3 月末) ・ チャーミングスクエア豊洲 (賃貸・シニア) 賃貸 193 戸・シニア 150 戸 (4 月以降)	三井不動産レジデンシャル・ゼクス	平成 20 年 03 月入居
⑪	THE TOYOSU TOWER (分譲住宅) 825 戸	三井不動産レジデンシャル他 3 社 J V	平成 21 年 03 月入居
⑫	シティタワーズ豊洲 ザ・ツイン (分譲住宅) 1063 戸の内 S 棟 602 戸は 3 月末入居 N 棟 461 戸は 6 月末入居	住友不動産	平成 21 年 03 月入居
⑬	シティタワーズ豊洲 ザ・シンボル (分譲住宅) 850 戸	住友不動産	平成 22 年 03 月入居
⑭	暫定利用計画 : バディスポーツ幼児園	バディ企画研究所 (I H I 所有地)	平成 22 年 04 月開園
⑮	暫定利用計画 : CAFE:HAUS	大和ハウス工業 (I H I 所有地)	平成 22 年 05 月開店
⑯	暫定利用計画 : シンフォニア保育園 分園	みわの会 (I H I 所有地)	平成 22 年 06 月開園
⑰	豊洲フロント	I H I ・ 豊洲 3 の 1 S P C	平成 22 年 08 月竣工
⑱	豊洲キュービックガーデン	第一生命保険株式会社	平成 23 年 01 月竣工
⑲	暫定利用計画 : アニヴェルセル豊洲	ラヴィス (I H I 所有地)	平成 23 年 04 月開場
⑳	豊洲フォレシア	I H I 豊洲三丁目 S P C	平成 26 年 07 月竣工
㉑	事務所・商業棟・シビックセンター棟・消防署棟	I H I ・ 三井不動産・江東区・消防庁	平成 24 年度着工 (一部竣工済)
㉒	豊洲駅交通広場地下自転車駐車場	江東区	平成 27 年 04 月供用開始

2 豊洲ふ頭地区の開発計画について

(1) 現況

- 対象 豊洲六丁目及び豊洲五丁目の一部
- 面積 約 110 ha
- 用途地域 工業地域（一部準工業地域）
- 容積率 200%（一部300%）

(2) 経緯

- 昭和63年 3月 ・ 「豊洲・晴海開発基本方針」策定
- 昭和63年 6月 ・ 豊洲地区開発協議会（都、東電、東ガス、鉄鋼埠頭、区）を設置
- 平成 2年 6月 ・ 「豊洲・晴海開発整備計画」策定
- 平成 5年 7月 ・ 都市計画（再開発地区計画（方針）、土地区画整理事業、都市計画道路）決定告示
- 平成 9年 4月 ・ 「豊洲・晴海開発整備計画－改定－」策定
- 平成 9年11月 ・ 豊洲土地区画整理事業の事業計画決定
- 平成11年 5月 ・ 豊洲・晴海水際線埋立地の埋立免許取得
- 平成13年 4月 ・ 東京都卸売市場審議会が「豊洲地区を候補地として移転整備に向けた検討を進めるべきである」と答申
- 平成13年 7月 ・ 築地市場の豊洲移転に関し東京都と東京ガスが基本合意
- 平成13年 8月 ・ 東京都副知事、江東区に市場移転正式申し入れ
- 平成13年12月 ・ 東京都卸売市場整備計画（第7次）策定
- 平成14年 9月 ・ 「豊洲・晴海開発整備計画－再改定（豊洲）案－」策定
- 平成15年 3月 ・ 中央卸売市場豊洲移転「基本構想」了承
- 平成16年10月 ・ 中央卸売市場豊洲移転協議に応じることを了承
- 平成18年 3月 ・ 都市計画道路一部開通、ゆりかもめ延伸（豊洲駅、市場前駅、新豊洲駅開業）
 - ・ 有明北橋開通
 - ・ 晴海大橋開通
- 平成18年 6月 ・ 新ガスの科学館がすてなーに（2-1街区）開館
- 平成18年 7月 ・ 豊洲地区開発協議会において、豊洲地区まちづくりガイドライン決定
- 平成18年11月 ・ 木遣り橋（放射34号線支線1）竣工・開通
- 平成19年 4月 ・ 都市計画（2-1街区、3-1街区、5・6・7街区地区整備計画）決定告示
 - ・ 豊洲ふ頭地区の開発に係る開発者負担に関する協定書の締結
- 平成20年 3月 ・ 事業者（東京都港湾局、東京電力、東京ガス、東京ガス豊洲開発）から教育施設等用地（約1ha）の提供を受ける
- 平成20年 5月 ・ 豊洲新市場予定地の土壌汚染問題で専門家会議が基本方針を策定
- 平成20年 6月 ・ テプコ豊洲ビル（3-1街区）竣工
- 平成20年 7月 ・ 豊洲新市場予定地の土壌汚染問題で専門家会議が最終提言
- 平成20年 8月 ・ 東京都が豊洲新市場予定地の土壌汚染対策で、新技術を公募開始

- 平成20年10月 ・ 都市計画（3-2街区地区整備計画）決定告示
- 平成20年11月 ・ 江東区が南部地域における病院整備を表明
江東区が東京都に対して病院用地提供の要望を提出
- 平成21年 2月 ・ 東京都が豊洲新市場の開業時期変更を発表
・ 高速10号晴海線 豊洲出入口が開通
- 平成21年 3月 ・ 「豊洲・晴海開発整備計画」の土地利用等の一部見直し
・ 「南部地域における病院整備の基本方針」の策定
- 平成21年 6月 ・ 東京都港湾局より病院用地（約1.5ha）の取得
- 平成21年 9月 ・ 豊洲六丁目公園 供用開始
- 平成22年 6月 ・ 都市計画（1-2街区、1-3街区地区整備計画）決定告示
- 平成22年 8月 ・ 豊洲六丁目第二公園 供用開始
- 平成23年 6月 ・ 豊洲グリーン・エコアイランド構想を策定
・ 昭和大学江東豊洲病院（1-3街区）着工
- 平成23年 8月 ・ 都市計画（豊洲新市場：都市施設）決定告示
- 平成24年 2月 ・ 土地区画整理事業 事業計画変更告示
（事業施行期間を平成27年3月までに変更）
- 平成24年 4月 ・ 住宅棟、公共・公益施設棟（3-2 B3街区）着工
- 平成24年 5月 ・ 新豊洲キューブ（3-2 A2街区）竣工
- 平成24年 6月 ・ 都市計画（4-1A街区地区整備計画）決定告示
- 平成25年 2月 ・ （仮称）豊洲西小学校（1-2街区）着工
- 平成25年 3月 ・ 3-2 A1街区 学校法人芝浦工業大学が用地を取得
- 平成25年 7月 ・ 住宅棟（3-2 B2街区）着工
- 平成26年 1月 ・ 住宅棟、商業・公益施設棟（3-2 B1街区）着工
- 平成26年 2月 ・ 豊洲新市場 千客万来施設 事業者決定（喜代村・大和ハウス工業）
・ 豊洲新市場（5・6・7街区）着工
- 平成26年 3月 ・ 「豊洲・晴海開発整備計画」一部改定
・ 土地区画整理事業 事業計画変更告示
（事業施行期間を平成29年3月までに変更）
・ 富士見橋 開通
・ 昭和大学江東豊洲病院（1-3街区）開院
- 平成26年 7月 ・ 豊洲地区地域冷暖房センター（4-1A街区）着工
- 平成26年12月 ・ 1-1街区 東急不動産株式会社ほか2社が用地取得の予約契約
- 平成27年 2月 ・ 豊洲新市場 千客万来施設 事業者辞退（大和ハウス工業）
- 平成27年 3月 ・ スイッチャー&ガーデン（3-2 B3街区）竣工・入居開始
・ キャナルプレイス豊洲（3-2 B1街区）竣工
- 平成27年 4月 ・ 江東めぐみこども園（3-2 B3街区）開園
・ しんとよす保育園（3-2 B1街区）開園
・ 豊洲西小学校（1-2街区）開校
・ 豊洲新市場 千客万来施設 事業者辞退（喜代村）
- 平成27年11月 ・ パークアックス豊洲キャナル（3-2 B1街区）竣工
- 平成28年 3月 ・ 豊洲新市場 千客万来施設 新事業者決定（万葉倶楽部）

- 平成28年 3月 ・ 「豊洲・晴海開発整備計画」一部改定
- 平成28年 5月 ・ 東京ガス豊洲スマートエネルギーセンター（4-1A街区）竣工
- 平成28年 7月 ・ 土地区画整理事業 事業計画変更告示
（事業施行期間を令和2年3月までに変更）
- 平成28年 9月 ・ ベイスター&ガーデン（3-2 B2街区）竣工
- 平成29年 3月 ・ 都市計画（4-1 B街区地区整備計画）決定告示
- 平成29年 4月 ・ 芝浦工業大学附属中学高等学校（3-2 A1街区）開校
- 平成29年10月 ・ 4-1 B街区開発計画（ホテル、医療機関、スポーツ施設）着工
- 平成29年11月 ・ 都市計画（1-1街区、1-2街区地区整備計画）決定告示
- 平成30年 3月 ・ 首都高速晴海線（豊洲出入口～晴海出入口まで）延伸
- 平成30年 4月 ・ 豊洲ぐるり公園供用開始
- 平成30年 6月 ・ 土地区画整理事業 事業計画変更告示（測量関係の作業に伴う地積の変更）
- 平成30年10月 ・ 豊洲市場開場
- 平成30年11月 ・ 環状二号線暫定迂回路開通
- 平成31年 1月 ・ 豊洲市場Oishi（おいしい）土曜マルシェ（5・6街区）開始
- 令和 元年 6月 ・ 土地区画整理事業 換地処分公告
- 令和 元年 9月 ・ Dタワー豊洲（4-1 B街区）竣工
- 令和 元年11月 ・ 豊洲西小学校増築棟（1-2街区）着工
- 令和 2年 1月 ・ 場外マルシェ「江戸前場下町」（5街区）竣工
（～令和5年3月）
- 令和 2年 3月 ・ 土地区画整理事業 事業計画変更告示
（事業施行期間を令和4年3月までに変更）
- 令和 2年 5月 ・ 駐車場棟（5街区）竣工

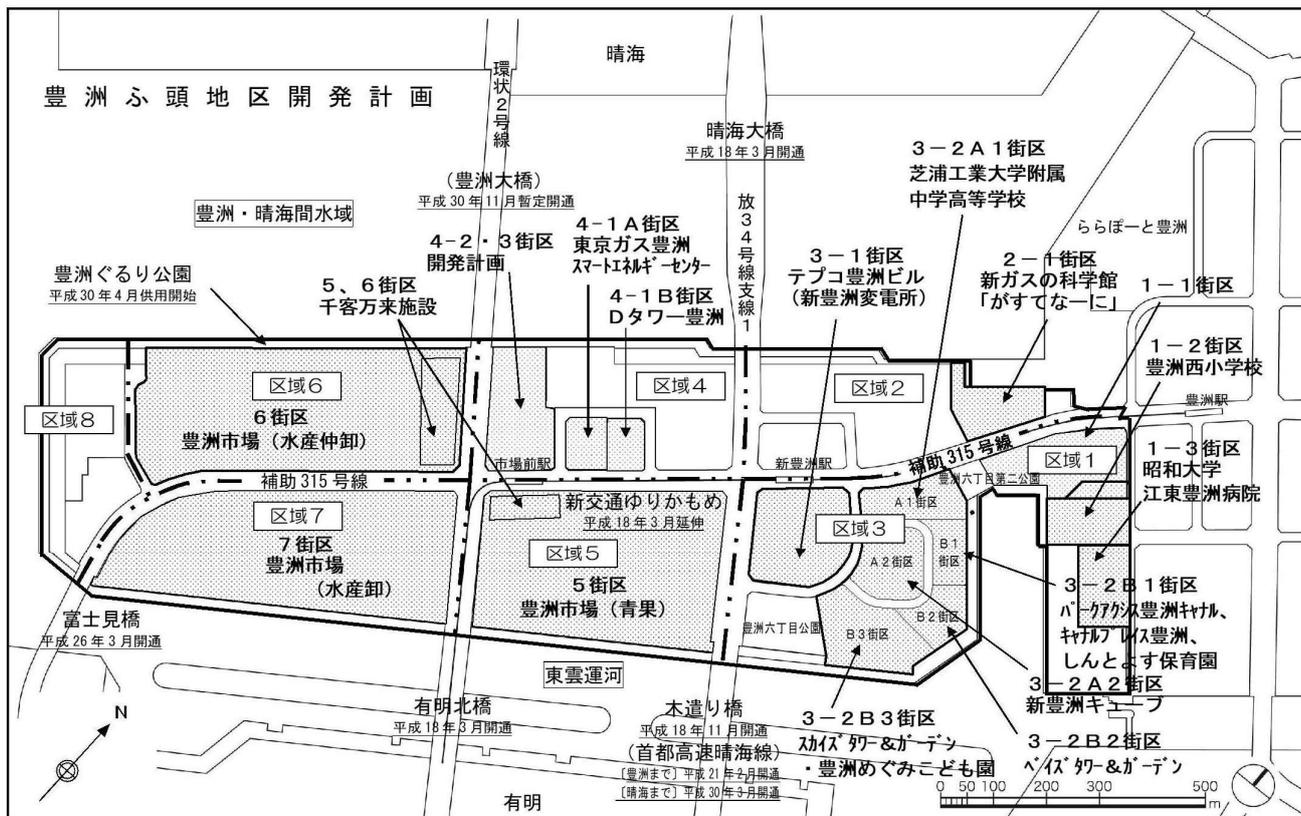
（3）今後のスケジュール（予定）

- 令和 3年 4月 ・ 豊洲西小学校増築棟（1-2街区）供用開始
- 令和 3年 8月 ・ 4-2・3街区開発計画（オフィス、ホテル、商業施設、交通広場）竣工
- 令和 4年 3月 ・ 1-1街区開発計画（共同住宅、生活利便施設、保育所、駐車場、変電所）竣工
・ 土地区画整理事業 事業完了
- 令和 5年 4月 ・ 千客万来施設（6街区）開業

（4）開発計画の概要

- 基本方針 **【豊洲・晴海開発整備計画 一再改定(豊洲)案一】**
 - ① 職住近接の都市型居住のまちの形成
 - ② 業務・商業、居住、文化などが調和した複合市街地の形成
 - ③ 東京の海の玄関にふさわしい文化と交流のまちの形成
- 【地区計画の目標】**
センター・コアと東京湾ウォーターフロント都市軸とを接続する立地をいかし、土地利用転換に併せ、街のにぎわいや景観に配慮した首都圏の食を支える新市場の整備や業務、商業、住宅、文化、アミューズメントなど多様な機能の導入によるにぎわいのある魅力的な複合市街地の形成を図る。
- 開発の考え方 開発整備の方向を踏まえ、多様な都市機能をバランスよく配置した、質の高い市街地の形成を図っていく。

○ 開発フレーム 面積：約110ha
 居住人口：13,000人程度、就業人口：44,000人程度



3 有明北地区の開発計画について

(1) 現況

- 対象 有明一丁目、有明二丁目及び東雲二丁目の一部
- 面積 約141ha（埋立区域等を除く面積約95ha）
- 用途地域等 準工業地域（容積率300% 建ぺい率60%）
第一種住居地域（容積率300%[一部200%] 建ぺい率60%）
第二種住居地域（容積率200% 建ぺい率60%）

(2) 経緯

- 昭和63年 3月 ・ 「臨海副都心開発基本計画」策定
- 平成元年 4月 ・ 「臨海副都心開発事業化計画」策定
- 平成5年 7月 ・ 都市計画（再開発地区計画（方針））決定告示
・ 都市計画（臨海部土地区画整理事業）決定告示
- 平成9年 3月 ・ 「臨海副都心まちづくり推進計画」策定
- 平成11年 3月 ・ 有明北土地区画整理事業の事業計画決定
- 平成11年11月 ・ 「臨海副都心有明北地区まちづくりマスタープラン」策定
- 平成14年 3月 ・ 「臨海副都心有明北地区まちづくりガイドライン」策定
- 平成16年12月 ・ オリゾン・マーレ（2区域2-5街区）入居（398戸）
- 平成17年10月 ・ 有明北1区域埋立事業（約35ha）竣工
- 平成17年11月 ・ 東京都の学校用地（小学校1校、中学校1校分計2ha）提供案を了承
- 平成17年12月 ・ 受入困難地区（マンション規制条例第8条第1項）の指定を解除
- 平成18年 3月 ・ ゆりかもめ豊洲延伸（有明テニスの森駅）開業、環状第2号線延伸（有明～豊洲間）開通
・ 有明北橋竣工・開通
- 平成18年 4月 ・ ガレリア・グランデ（2区域2-7街区）入居（413戸）
- 平成18年 6月 ・ 都市計画（2区域2-3-A街区地区整備計画）決定告示
- 平成18年 9月 ・ 東京都港湾局：「臨海副都心有明北地区における土地利用等の一部見直し」公表
- 平成18年11月 ・ 木遣り橋（放射第34号線支線1）竣工・開通
- 平成19年 2月 ・ 東京都港湾局：「臨海副都心まちづくりガイドライン再改定」公表
- 平成19年 4月 ・ 都市計画（2区域2-8-A街区地区整備計画）決定告示
- 平成19年12月 ・ 都市計画（2区域2-3-B、3区域3-3-A、3-3-B街区地区整備計画）決定告示
・ 東京都港湾局：「臨海副都心有明北地区まちづくりマスタープランの一部見直し」公表
・ 「臨海副都心有明北地区まちづくりガイドライン-改定-」公表
- 平成20年 5月 ・ 3区域3-1地区公募開始
- 平成20年 6月 ・ 都市計画（3区域3-2街区地区整備計画）決定告示
- 平成20年 8月 ・ 3区域3-1街区公募 応募受付（←不調）
- 平成20年10月 ・ 1区域を市街化区域へ編入
・ 都市計画（1区域雨水ポンプ場街区地区整備計画）決定告示
・ 都市計画（1区域（個別地区整備計画街区を除く）地区整備計画）決定告示
- 平成21年 2月 ・ 東京都がIOCへオリンピック立候補ファイルを提出

- 平成21年 3月 ・ ブリリアマーレ有明（2区域2-3-A街区）入居（1,061戸）
・ 3区域3-1街区再公募開始
- 平成21年 4月 ・ 有明教育芸術短期大学（3区域3-3-A街区）開校
・ 東京有明医療大学（3区域3-3-B街区）開校
・ 有明小・中学校（3区域3-2街区）工事着手
- 平成21年 6月 ・ 「臨海副都心有明北地区まちづくりマスタープランの一部見直し」及び「臨海副都心有明北地区まちづくりガイドライン改定」における3区域西側の土地利用方針の明確化
- 平成21年10月 ・ 3区域3-1街区再公募 応募受付
（応募受付期間の延長 [3月31日まで]）
- 平成22年 3月 ・ シティタワー有明（2区域2-8-A街区）入居（483戸）
・ 3区域3-1街区再公募 応募受付期限（←不調）
- 平成22年 7月 ・ 3区域3-1街区再々公募開始
- 平成22年10月 ・ 都市計画（2区域2-2-A街区地区整備計画）決定告示
・ 都市計画（2区域（個別地区整備計画街区を除く）地区整備計画）決定告示（約40ha）
- 平成22年12月 ・ 3区域3-1街区進出予定事業者（住友不動産）決定
- 平成23年 3月 ・ ブリリア有明スカイタワー（2区域2-3-B街区）入居（1,089戸）
- 平成23年 4月 ・ 有明小・中学校（3区域3-2街区）開校
- 平成25年 3月 ・ 土地区画整理事業 事業計画変更告示
（事業施行期間を平成29年3月までに変更）
- 平成25年 9月 ・ UR公募地（2区域2-1街区内）事業者決定（大和ハウス工業）
・ 2020年東京オリンピック・パラリンピック開催決定
- 平成26年 7月 ・ 「臨海副都心有明北地区まちづくりマスタープラン」改定
・ 「臨海副都心有明北地区まちづくりガイドライン」改定
- 平成27年 3月 ・ ブリリア有明シティタワー（2区域2-2-A街区）入居（600戸）
・ 都市計画（臨海副都心有明北地区まちづくりガイドライン改定、1区域1-7-A街区地区整備計画）決定告示
- 平成27年 4月 ・ 2区域2-2街区内（江東湾岸サテライトスマートナーサリースクールテニスの森キャンパス）開園
- 平成28年 4月 ・ （仮称）第二有明小・中学校工事着手
・ 東京圏の国家戦略特別区域に係る区域計画（3区域3-1街区地区整備計画）認定
・ 2区域2-1街区（物流倉庫）竣工
- 平成28年 5月 ・ 都市計画（1区域1-3街区、4区域4-2街区地区整備計画）決定告示
- 平成29年 2月 ・ 土地区画整理事業 事業計画変更告示（事業施行期間を令和2年3月までに変更）
- 平成29年 4月 ・ 有明アリーナ（仮称）（1区域1-3街区） 着工
- 平成29年11月 ・ 有明体操競技場兼展示場（1区域） 着工
- 平成30年 1月 ・ 都市計画（2区域2-1-A街区地区整備計画）決定告示
- 平成30年 4月 ・ 有明西学園（1区域1-7-A街区）開校
- 平成30年 5月 ・ 土地区画整理事業 事業計画変更告示（測量関係の作業に伴う地積の変更）
- 平成30年 6月 ・ 深川消防署有明分署 竣工
- 令和 元年 8月 ・ 土地区画整理事業 換地処分公告
- 令和 元年10月 ・ 有明体操競技場兼展示場（1区域） 竣工
12月 ・ 有明アリーナ（1区域1-3街区） 竣工

- 令和 2年 3月 ・ 有明ガーデン（3区域3-1街区）（第一期）竣工
（住宅 1,539戸＋商業・業務・ホール・ホテル・サービスアパートメント）
- ・ 土地区画整理事業 事業計画変更告示（事業施行期間を令和7年3月までに変更）

（3）今後のスケジュール（予定）

- 令和 2年 7月 ・ 3区域3-1-C-2街区 暫定的な利用に向けた整備完了
- 令和 3年 4月 ・ 3区域3-1-C-3街区（劇場）暫定的な利用に向けた整備完了
- 令和 3年 8月 ・ 2区域2-1-A街区（共同住宅）竣工
- 令和 7年 3月 ・ 有明北地区土地区画整理事業 事業完了
- 令和17年 3月 ・ 3区域3-1街区（第二期）竣工（商業・業務等）

（4）開発計画の概要

○ 基本方針

【臨海副都心有明北地区まちづくりマスタープラン】

- ① 水と緑に親しめるまち
- ② 多様なライフスタイルを楽しめる都市型居住のまち
- ③ 自由な発想と創意工夫を生かしたまち

【地区計画の目標】

東京の新しい副都心となる臨海副都心を形成していくため、地区の現況と地元の意向を踏まえて、住宅を中心とした複合市街地として質の高い複合空間、都市環境を形成する。

○ 開発の考え方

「住宅を中心とした複合市街地」

地区全体で居住機能を強化しながら、業務・商業機能等と居住機能の複合する活力あふれる市街地を形成する。

○ 開発フレーム

面積：約141ha

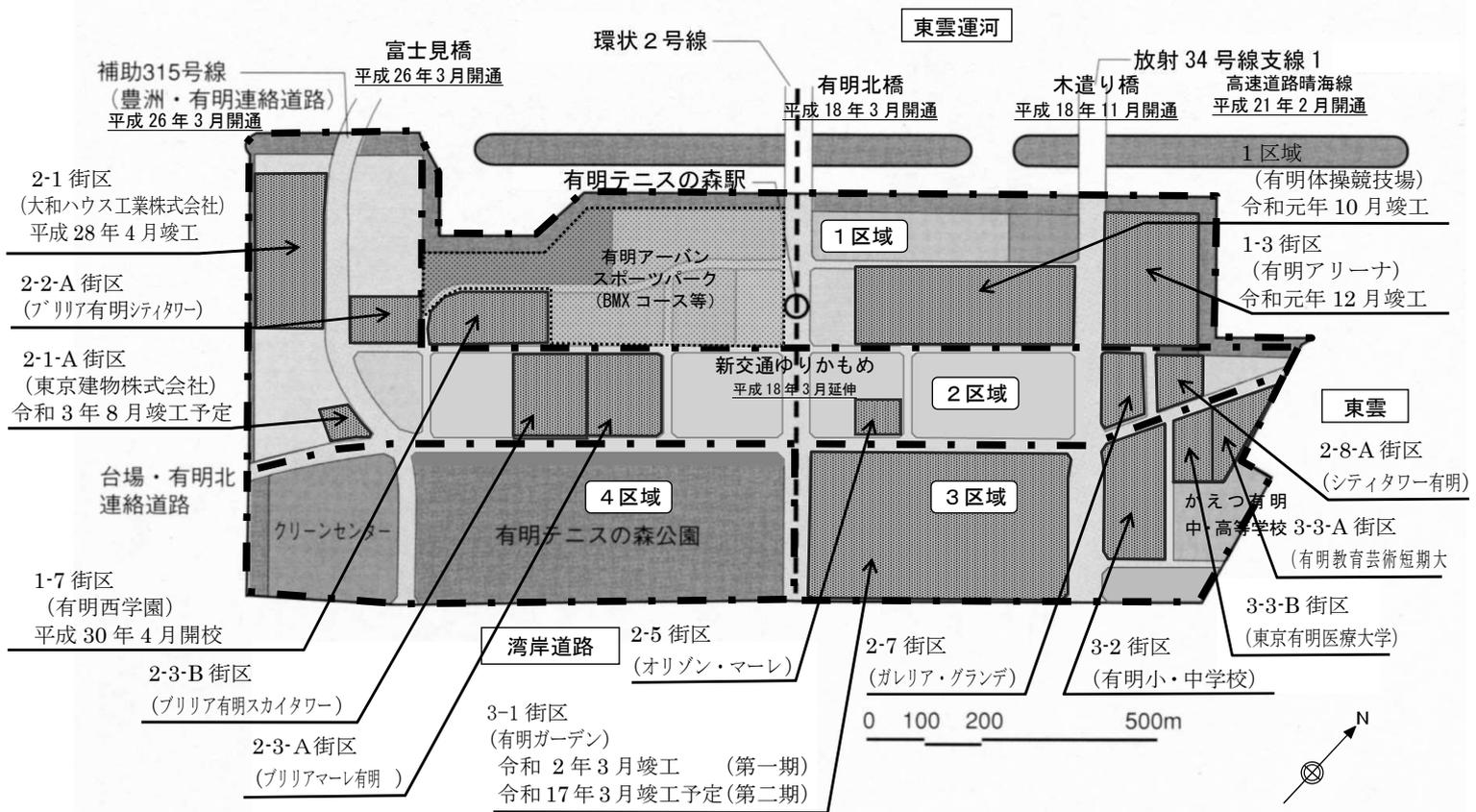
居住人口：38,000人程度、就業人口：14,000人程度

（※ 有明北1区域（埋立区域）を含む）

○ 土地利用計画

- ① 1区域(埋立地)：住宅系用地 + 住・商複合用地 + 公共公益系用地 + 公園緑地用地
- ② 2区域：住・商・業複合用地
- ③ 3区域(東側)：公共公益系用地
3区域(西側)：住・商・業複合用地
- ④ 4区域：公園緑地用地 + 公共公益系用地

【有明北地区の開発計画】



4 潮見地区の開発計画について

(1) 現況

- 対象 潮見一・二丁目
- 面積 約51ha
- 用途地域 準工業地域（一部近隣商業地域）
- 容積率 300%（一部200%、400%）

(2) 経緯

- 平成2年3月・JR潮見駅開業
- 平成16年6月・潮見二丁目西地区地区計画の策定及び用途地域を工業専用地域から準工業地域に変更（都市計画変更）
- 平成20年4月・江東区が「潮見地区まちづくり連絡会」を発足
- 平成20年9月・江東区が「潮見地区まちづくり方針」に関する説明会を開催
- 平成20年10月・江東区が「潮見地区まちづくり方針」を策定
- 平成20年12月・藤和不動産(株)が潮見地区の住宅計画から撤退
- 平成23年3月・西濃運輸(株)が新木場の所有地を購入
- 平成25年8月・(株)三陽商会在がセンコー(株)に土地建物を売却
- 平成28年3月・西濃運輸(株)が新木場に移転
- 平成30年6月・西濃運輸(株)が土地を売却
- 令和元年9月・清水建設(株)が潮見プロジェクト（研究施設、旧渋沢邸）を着工
（建築工事は未着手）

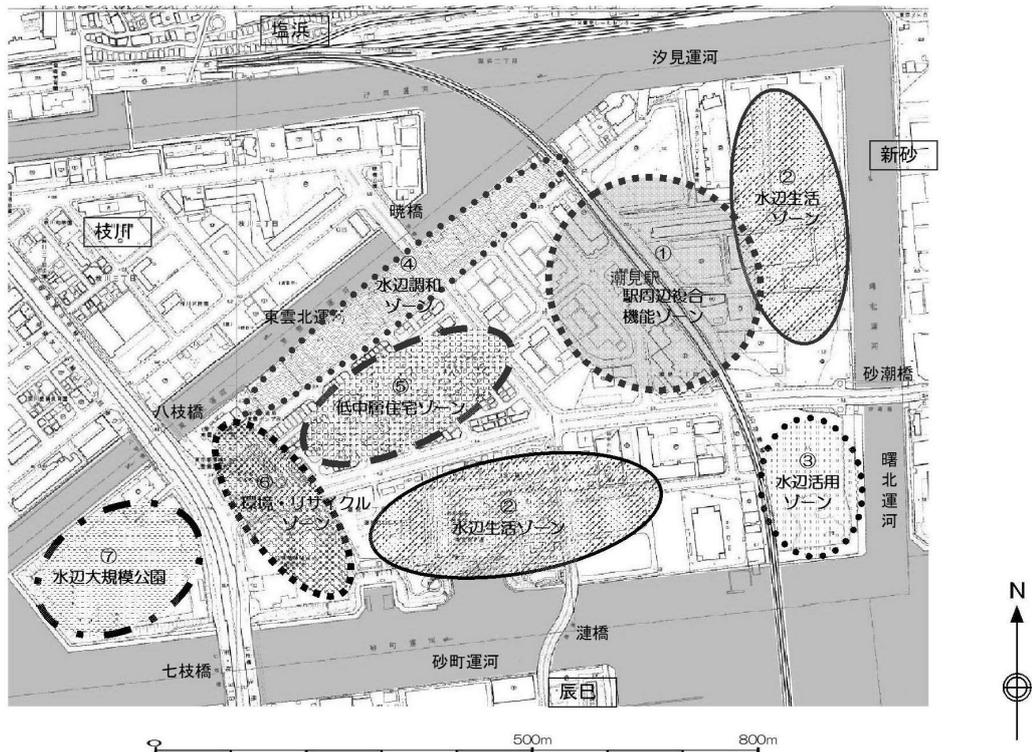
(3) 潮見地区まちづくり方針の概要

- 目的・役割
 - ① 今後見込まれる大規模な土地利用転換を適正に誘導する。
 - ② 駅周辺を中心とした地域の生活や文化の拠点となる「地域核」としての充実を図る。
 - ③ 新たなコミュニティの創出とともに良好なまちづくりの形成を図る。
- まちづくりのコンセプト
 - I 「コミュニティ」、II 「水辺」、III 「安全・安心」、IV 「環境・リサイクル」
- 開発フレーム
 - 面積：約51ha、居住人口：約11,000人程度、就業人口：約8,000人程度
- 公共施設等の整備方針
 - ・ 居住人口の増加に伴い、枝川小学校への児童受入れが困難な状況となり、新たに必要になる小学校は、学校環境への配慮や地区内の土地利用方針並びに地区の特色である水辺の活用を考慮し、現在の区有地を活用しながら整備を図る。
 - ・ 駅東側地区については、不整形な敷地形状を整序し、土地の有効活用を図ることなどの理由により道路を新設する。
 - ・ 潮見二丁目地区内において公園のない現況を踏まえ、地域活動の拠点となる新たな公園を整備する。

○ 今後のまちづくりの進め方（駅東側地区）

- ・ 地区計画を活用し、オープンスペース、歩行者ネットワークの確保を図る。
- ・ 開発者負担を原則とし、地権者主導のまちづくりを進める。

潮見地区 ゾーン別整備方針図



※「潮見地区まちづくり方針」（平成20年10月：江東区）より抜粋

5 大島三丁目地区の開発計画について

(1) 現況

- 対象 大島三丁目の一部
- 面積 約 1.6 ha
- 用途地域 商業地域・準工業地域（第2種特別工業地区）
- 容積率 500%・300%

(2) 経緯

- 平成13年 6月 ・ 地元でのまちづくり検討の開始
- 平成16年11月 ・ 大島三丁目街づくり協議会の発足
- 平成24年 3月 ・ 江東区に再開発計画案を提出
- 平成25年 2月 ・ 市街地再開発準備組合の設立
- 平成27年10月～ ・ 住民説明会の実施
- 平成29年 6月 ・ 西大島地域まちづくり協議会の設置
- 平成30年 3月 ・ 江東区に西大島地域まちづくり提案書を提出
- 平成30年10月 ・ 西大島地域まちづくり方針の策定
- 令和 2年 3月 ・ 江東区に事業提案を提出

(3) 地元組織の概要

- 名称 : 大島三丁目1番地地区市街地再開発準備組合
- 組合員数 : 42名

(4) まちづくりの方向性

- 江東区都市計画マスタープランにおける位置付け
[西大島地域核の育成・整備方針]
 - ・ 駅前にふさわしい地域の生活・文化の拠点となるよう、都市計画道路の拡幅によるゆとりある歩行者空間の創出や、防災スペースの確保など都市基盤の充実を図る。
 - ・ 居住・商業・業務機能が複合したにぎわいのあるまちづくりを目指し、土地の有効・高度利用を誘導する。
- 西大島地域まちづくり方針における位置付け
[ゾーン別の方針]
 - “賑わい軸”
 - ・ 拡幅事業が未着手の都市計画道路である明治通りと新大橋通りの拡幅（民有地の歩道状の整備を含む。）、段差や障害物の解消など、都市基盤の整備改善を進め、安全で安心な歩行者通行空間及び自転車通行空間を確保する。
 - ・ 新大橋通りと明治通りに面した小規模な広場（ポケットパーク）の整備（道路拡幅のために買収した土地の残地の活用等）を目指す。
 - ・ 既存商店街の活性化を促進しつつ、魅力的な商業施設やサービス施設の誘導を進める。
 - “駅周辺ゾーン”
 - ・ 多様なニーズに対応した商業施設やサービス施設の集積を誘導する。
 - ・ 総合区民センター等の公共施設等の更新の機会を捉え、高齢者福祉施設、子育て支援施設等について地域のニーズに対応した機能更新を図るとともに、ユニバーサルデザイン等全ての人々が利用しやすい施設とする。
 - ・ 地域核にふさわしい機能の集積を図るため土地の高度利用を促進するとともに、地域の交流

6 亀戸六丁目地区の開発計画について

(1) 現況

- 対象 亀戸六丁目
- 面積 約 27.0 ha
- 用途地域 準工業地域、商業地域、近隣商業地域
- 容積率 300% (一部400%、500%、600%、700%)

(2) 経緯

- 平成 9年 ・ 大型商業施設「サンストリート亀戸」オープン
- 平成28年 3月 ・ 「サンストリート亀戸」閉鎖
- 平成29年 8月 ・ 亀戸六丁目まちづくり連絡会の設置
- 平成30年 10月 ・ 亀戸六丁目まちづくり方針を策定
- 令和 元年 7月 ・ サンストリート亀戸跡地開発着工

(3) 今後のスケジュール (予定)

- 令和 2年 7月 ・ 第二亀戸小学校増築棟工事着工
- 令和 4年 3月 ・ サンストリート亀戸跡地開発竣工
- 令和 4年 4月 ・ 第二亀戸小学校増築棟供用開始

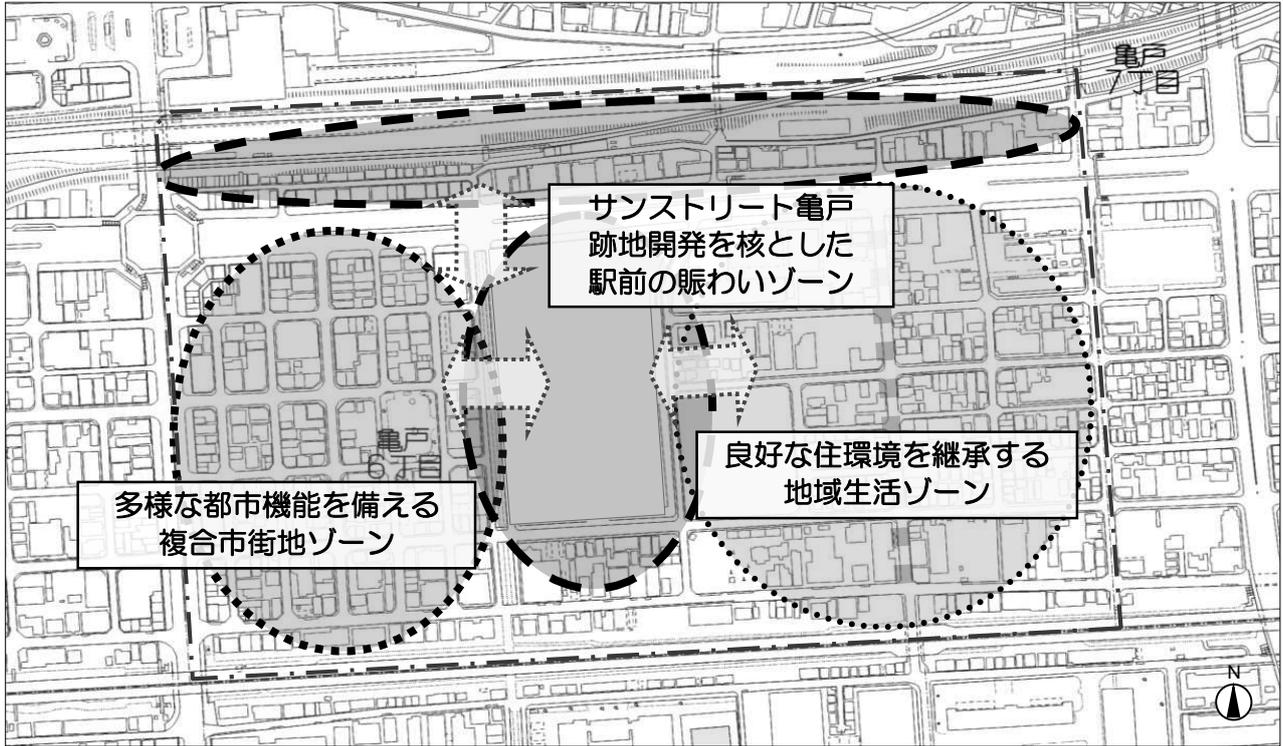
(4) 亀戸六丁目まちづくり方針の概要

賑わい・観光・交流・居住など多様な都市機能が複合し、来街者と居住者が集う、下町文化を感じられるまち。

(5) 土地利用の方針

- サンストリート亀戸跡地開発を核とした駅前の賑わいゾーン
 - ・ 商業・住宅・交流等の多様な都市機能を導入し、亀戸駅と市街地を円滑につなぐ歩行者ネットワークを形成。
- 多様な都市機能を備える複合市街地ゾーン
 - ・ 幹線道路沿道については、商業等の複合利用を誘導し、後背地については、回遊性の高い市街地を形成。
- 良好な住環境を継承する地域生活ゾーン
 - ・ 幹線道路沿道については、商業・住宅等の複合利用を誘導し、後背地については、引き続き落ち着きのある住環境を継承。

(6) 案内図



7 新砂二・三丁目地区の開発計画について

(1) 現況

- 対象 新砂二・三丁目（IHI砂町工場跡地 他）
- 面積 約 16.5ha
- 用途地域等 工業専用地域（容積率200%）

(2) 経緯

- 平成26年 3月 ・ IHI砂町工場が閉鎖
- 令和元年 12月 ・ 「新砂二・三丁目まちづくり連絡会」の設立を防災・まちづくり・交通対策特別委員会にて報告
- 令和2年 6月 ・ 新砂二・三丁目まちづくり連絡会の設置

(3) まちづくりの方向性（江東区都市計画マスタープランにおける位置付け）

[湾岸地区の土地利用方針]

- ・ 無秩序な開発を抑制し、物流機能の集約的な配置を誘導するなど、地区の良好な環境を保全・育成する。
- ・ 既存の物流機能とともに、広域的な交通ネットワークに恵まれた立地条件、水辺空間等のポテンシャルを最大限に生かし、関係者との連携強化を図りながら計画的な魅力ある市街地の形成を目指す。

[湾岸地区の部門別の整備方針（水とみどりの都市づくり）]

- ・ 幅の広い運河や広大な公有水面を生かして、水面とレクリエーションや産業施設、それらのみどりと一体的となった特色あるまちづくりを進める。

[湾岸地区の部門別の整備方針（交通都市づくり）]

- ・ 新砂地区では、土地利用転換にあわせた道路整備を目指すため、関係機関と調整を図りながら整備路線の配置等を検討する。

(4) 案内図

